

熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学専攻[※]
令和4年度(2022年度) 卒業論文・卒業設計発表会 プログラム
日時: 令和4年(2022年)10月29日(土)午前9時30分～
会場: 大ホール

発表時間: 発表 3 分, 質疑 3 分
(もしくは発表 4 分, 質疑 2 分)

▼ 午前の部 9:35～11:56

種別	発表番号	題目	発表時間	
論文	1	水俣市役所仮庁舎の電力消費についての研究	9 : 35	9 : 41
	2	ZEH仕様の有無による太陽光発電の自家消費量の違いについての研究	9 : 42	9 : 48
	3	コンビニエンスストアの温熱環境実測調査および消費電力に関する研究	9 : 49	9 : 55
	4	山鹿1000年住宅と一般住宅の温熱環境比較と検討	9 : 56	10 : 02
	5	体の各部位の体心部温度との関係性	10 : 03	10 : 09
	6	検温器の特性と実用性に関する研究	10 : 10	10 : 16
	7	札幌・福山・熊本における想像温度と睡眠の質の関係	10 : 17	10 : 23
	8	好きな色と好きな部屋の色の違いと要因	10 : 24	10 : 30
	9	つくられ続けるマップによる地元住民の愛着の向上	10 : 31	10 : 37
	10	漁村集落の活性化を目指した旧シスター宿舎の活用	10 : 38	10 : 44
休憩(10分)				
設計	11	みんなの我が家 ―マギーズセンターから学ぶ、がんに影響を受けた人達のための西病棟改修計画―	10 : 54	11 : 00
	12	未来に遺す掩体壕跡 ～平和とは自らが求め続けるもの～	11 : 01	11 : 07
	13	蠶 ―寄席の過去から未来へ繋げるきっかけの場―	11 : 08	11 : 14
	14	つなぐ建築	11 : 15	11 : 21
論文	15	住宅確保要配慮者を対象とした空き家活用に関する研究	11 : 22	11 : 28
	16	仮設装置を活用した歩行空間における賑わい創出に関する研究	11 : 29	11 : 35
	17	性的マイノリティに配慮した男女共用トイレの在り方に関する研究 ―熊本県立大学を対象として―	11 : 36	11 : 42
	18	持続可能な空き家バンクの運営手法の考察 ―熊本型広域空き家バンクシステムの開発を通して―	11 : 43	11 : 49
	19	公営住宅の環境評価と今後の活用に関する研究 ―熊本市市営住宅を対象として―	11 : 50	11 : 56

▼ 午後の部 12:56～15:24

論文	20	竹材を用いた木造建築物の耐震性能向上に関する研究	12 : 56	13 : 02
	21	添え柱による伝統構法軸組の耐震性能向上に関する研究	13 : 03	13 : 09
	22	長押を有する伝統構法軸組の耐震性能向上に関する研究	13 : 10	13 : 16
	23	きずり漆喰壁の耐震性能評価に関する研究	13 : 17	13 : 23
	24	世帯類型に応じた適切な防災情報の提供手法に関する研究	13 : 24	13 : 30
	25	熊本市及び益城町中心部を対象とした悉皆調査に基づく伝統構法建物の地震時安全性評価	13 : 31	13 : 37
	26	文化財的な価値を有する木造建物の保存活用に関する体制づくりの検討	13 : 38	13 : 44
	27	構造力学における自己学習支援に関する研究	13 : 45	13 : 51
	28	日中の構造設計規準類に基づく鋼構造部材の設計耐力の比較	13 : 52	13 : 58
休憩(10分)				
論文	29	山間部における住民と空き家との関わりが空き家のイメージに与える影響に関する研究	14 : 08	14 : 14
	30	歴史的町並みの保全プロセスと地域住民に関する研究	14 : 15	14 : 21
	31	ローカルイベントが地域愛着の形成に及ぼす影響に関する研究	14 : 22	14 : 28
	32	移住者の地域との関わり度合いが熊本地震での避難行動に与えた影響に関する研究	14 : 29	14 : 35
	33	熊本地震の被災集落における住宅の再建と住民同士の繋がりの変容に関する研究	14 : 36	14 : 42
	34	復興まちづくりにおける住民の主体形成に関する研究	14 : 43	14 : 49
	35	熊本市立地適正化計画と長嶺地区の現況の乖離に関する研究	14 : 50	14 : 56
	36	学生の居場所が見つかるカタログ開発とその評価 ―熊本県立大学周辺を対象として―	14 : 57	15 : 03
	37	滞留時間を増やすためのデザインとその評価に関する研究 ―熊本県立大学西門通りを対象として―	15 : 04	15 : 10
	38	熊本県におけるコワーキングスペースの運営及び利用実態に関する研究	15 : 11	15 : 17
設計	39	私がまちを好きになるまで	15 : 18	15 : 24

※2019年度入学者から、居住環境学科は環境共生学部環境共生学科居住環境学専攻になりました。